

情報通信審議会 情報通信技術分科会
700MHz 帯衛星ダイレクト通信検討作業班（第 4 回）会合 議事要旨

1 日時

令和 8 年 3 月 17 日（火）17 時 00 分～17 時 20 分

2 場所

Web 会議による開催

3 出席者（敬称略、順不同）

（1）構成員

主 任：藤井 威生

構 成 員：阿部 健彦、石原 周、宇都宮 隆介、遠藤 哲、太田 宗孝、小竹 信幸、
加藤 千早、川崎 邦弘、川島 雅裕（代理：三木 圭輔）、北崎 裕之、
甲田 乃次、越野 真行、酒井 隆史、佐藤 晃一、城田 雅一、
谷田 尚子、土居 義晴、永久保 仁志、橋本 昌史、平松 正顕、
福本 史郎、星 洋平（代理：大曾根 淳太）、三浦 周（代理：野原 光夫）

関 係 者：関田 卓

（2）事務局（総務省 基幹・衛星移動通信課）

：山野課長、糸分析官、渡辺課長補佐、矢萩係長、鈴木官、宮山官

4 議事概要

議事に先立ち、事務局から構成員の出席状況の報告、配付資料の確認等が行われた後、以下の議題について検討が行われた。

（1）衛星通信システム委員会報告（案）について

（資料 4 - 1 及び資料 4 - 2 に基づき事務局から説明が行われ、以下のとおり質疑応答があった。）

酒井構成員 ： 資料 4 - 2 報告案の 28 ページの 2.2.2.4 において、「Power class 3」の追記ありがとうございます。同じページにある赤字修正箇所の説明もお願いしたい。

事 務 局 ： 2.2.1 の特定ラジオマイクの共用検討部分の記載と整合性をとるために、見直しを行った。衛星と通信を行う際、端末の電力制限が働かないことを明確にし、丁寧に書き下したものである。

酒井構成員 ： この箇所の修正は、私が前回の作業班で、地上テレビ放送との共用検討において、衛星局からの到達電力が地上の携帯電話基地局からよりも 10dB 低いので、受信障害対策を講じることなく共用可能と表現されて

いることに対してお伝えした指摘を受けての修正と認識している。携帯電話基地局と地上テレビ放送の共用条件を引用し、技術的に共用可能であることを丁寧に示していただいたうえで、運用調整範囲である「受信障害対策を講じることなく」という文言を削除いただいたと理解した。

福本構成員：資料4-1 報告概要の2ページと、資料4-2 報告案の11ページに記載の衛星システムの諸元のサービスリンクにおいて、携帯移動地球局と衛星局の周波数の記載が逆になっているため、報告概要の記載を報告案の記載に合わせていただくのが良いかと思う。

事務局：修正させていただく。

(2) その他

事務局から、本委員会報告案を本年4月に開催予定の衛星通信システム委員会に報告・議論いただき、約1か月のパブリックコメントに付した後、最終的に本年5月頃に開催予定の情報通信技術分科会において一部答申をいただくことを予定している旨の連絡があった。

以上